

SAP HR Connect Autumn 2020

# 事業戦略を支える人事の挑戦 ～新たな時代に飛躍する組織へ～

2020年10月26日(月)～10月30日(金)

オンライン開催

## SAP SuccessFactors

わずか数か月の間に、私たちのビジネス環境と生活様式は一変しました。

各企業は「ニューノーマル」にいち早く適応し危機の中で飛躍すべく、様々な新戦略を模索しています。

そんな中、リモートワークの拡充によりオフィスの必要性が問われたり、脱ハンコ、年功制を廃しジョブ型人事制度の対象者を拡充する動きなど、これまでの人事の「常識」も大きく見直しが進んでいます。

本イベントでは、事業目標達成のための人創り、組織活性化にチャレンジされている人事リーダーをお招きし、人事戦略やその打ち手、背景をお話し頂きます。また、膨大な人材データから新たな気づきを提供し、個々の社員の能力を最大限引き出す施策を支える最新テクノロジーをご紹介します、これからの時代における飛躍を支える、人事の役割に迫って参ります。

公開開始日: 2020年10月26日(月)～10月30日(金)

12時00分～13時00分

対象: 企業の経営層、人事・経営企画・国際・総務部門など  
ご担当の役員・管理職の方々

※本セミナーは弊社製品のご導入をご検討いただいているお客様を対象としております。  
競合他社様からのお申込みはお断りをさせていただきます。予めご了承ください。

主催: SAP ジャパン株式会社

お問い合わせ: SAP HR Connect 事務局

Mail: sap-hrinfo@jp-seminar.com



最新情報・参加登録はこちら

<http://sap.expoline.jp/hra20/>

THE BEST RUN



<p>DAY 1</p> <p>10/26(月)</p> <p>12:00 - 13:00 配信</p>	<p><b>ニューノーマル時代の人事・人材育成の取り組み</b></p> <p>日本電信電話株式会社 総務部門 人事・人材開発担当 担当部長 小田 晃弘 氏</p> <p>NTTグループでは、中期経営戦略『Your Value Partner 2025』を掲げ、あらゆる社会・経済がより大きな変革を求められる時代に、デジタル・ICT技術を活用して社会的課題の解決、スマートワールドの実現に向けて取り組んでいます。その一環として、原動力となる社員の目線に立ち、自己変革を加速する人材づくりに向け、2020年4月に新たなタレントマネジメント基盤を導入しました。直後、私たちのビジネス環境は一変することになりますが、今後のニューノーマル時代の人事・育成のあり方、取り組みについてお話しします。</p>	
<p>DAY 2</p> <p>10/27(火)</p> <p>12:00 - 13:00 配信</p>	<p><b>加速するSAPのデジタルトランスフォーメーションと人事制度改革</b></p> <p>SAPジャパン株式会社 常務人事執行役員 人事本部長 Olga Zgurkaya (オリガ・ズグスカヤ) SAPジャパン株式会社 人事部 HRビジネスパートナー・リード 石山 恵里子</p> <p>SAPのHR(ヒューマン・リソース)デジタルトランスフォーメーションでは、簡素化・標準化・顧客満足という3つの原則を掲げ、内部顧客であるビジネスリーダーや社員の声を反映しながら、ジョブ型人事制度、報酬制度、評価制度、人事異動や採用のプロセスなど、人事の核となる制度やプロセスの改革を実現してきました。本セッションでは、人事部門が企業変革のドライバーとなり得る一つの事例として、SAPのデジタルトランスフォーメーションと人事制度改革をご紹介します。</p>	 
<p>DAY 3</p> <p>10/28(水)</p> <p>12:00 - 13:00 配信</p>	<p><b>ニューノーマルヒューマンマネジメント ～HR Techを企業が今活用すべき5つの論点～</b></p> <p>日本アイ・ビー・エム株式会社 グローバル・ビジネス・サービス事業本部 タレント&amp;トランスフォーメーション アソシエイトパートナー 久保田 勇輝 氏</p> <p>タレントマネジメント、AI、エンゲージメント、アフターコロナ、2025年の崖といった人事を取り巻く様々な事象、ワードが飛び交う昨今。各社の人事部としては、そういった事象の本当の意味合い、課題、解決策、関連性についてきちんと理解した上で対応することが求められています。また、昨今のHR Techがそういったものにどのように寄与するか、どのように使っていくのかについて、事例を交えながらご紹介いたします。</p>	
<p>DAY 4</p> <p>10/29(木)</p> <p>12:00 - 13:00 配信</p>	<p><b>「昭和の働き方から令和の働き方へ」 創業55年の日系企業が挑むDX/BPRを軸とした働き方改革</b></p> <p>株式会社ソラスト 取締役 専務執行役員 チーフ・ヒューマンリソース・オフィサー 人事総務本部長 川西 正晃 氏</p> <p>当社は1965年に日本初の医療事務教育機関として創業。その後、介護、保育へと事業領域を広げてきましたが、2012年にMBOによる非上場と同時に経営体制を一新。2016年に東証一部上場を果たした後、介護事業におけるM&amp;Aをテコに毎年の2桁成長を実現してきました。順調に業績を伸ばす一方で、紙と手作業ベースの旧態依然とした社内業務オペレーションが大きな経営課題となり、2018年から基幹システムを順次刷新すると共に、新しいシステムを活用したBPOに取り組んでいます。昨年取り組んだ医療事業における経理、人事、総務業務BPOの成果と問題点、現在進行中の介護事業での取り組みについてご紹介したいと思います。</p>	
<p>DAY 5</p> <p>10/30(金)</p> <p>12:00 - 13:00 配信</p>	<p><b>プロサッカークラブの人事 ～勝利のための“選手(じんざい)”戦略～</b></p> <p>株式会社モンテディオ山形 代表取締役社長 相田 健太郎 氏</p> <p>本プログラムでは我々モンテディオ山形が考える戦略とそれを支える人事×デジタル化についてご紹介いたします。プロサッカークラブにおける経営目標(注1)は「黒字化」と「優勝」です(注1:クラブによって考え方に違いがあると思います)。一見、スポーツビジネスは一般的なビジネスとかけ離れた印象をお持ちになる方も少なくないかと思いますが、目標を達成するための戦略上、組織(チーム)と人材(選手)は他のビジネスと等しく重要な要素です。将来に向けた新人の採用、社員の育成や優秀な人材を確保し続ける、ベテラン職員と若手職員のバランスなど、事業規模の大小に関わらずすべての企業様に通じる悩みがプロサッカークラブ内でも毎年起きています。今回はプロサッカークラブ・モンテディオ山形の取り組みを実例にし、人事とそれを支えるデジタル化についてご紹介いたします。</p>	
	<p><b>最新テクノロジーで実現する価値を創る組織 ～人と組織の新しいつながり～</b></p> <p>SAPジャパン株式会社 人事・人材ソリューションアドバイザー本部 ソリューションスペシャリスト 船場 智代</p> <p>いま多くの識者が、働く人の意識や働き方が大きく変化していると予測しています。実際、チームメンバーが離れた場所から働く分散型組織の広がりや、メンバーシップ型人事からジョブ型人事への移行に関する記事を目にする機会が増えています。一方で、旧来の雇用慣行やITインフラが、人事変革の足かせになっているという現場の声もお聞きます。本セッションでは、自社の優れた点を残しながら、新たな時代に高い付加価値を生む組織へと進化するために、最新HRソリューションをどう役立てていただけるのかを、ご紹介いたします。</p>	

## 講演視聴について

- 1 ご登録完了メールにお客様専用ページのご案内をさせていただきます。お客様専用ページにアクセス頂き、パスワード設定をお願いいたします。
- 2 講演の視聴は、お客様専用ページからアクセスいただけます。

協賛



協力: 東洋経済新報社